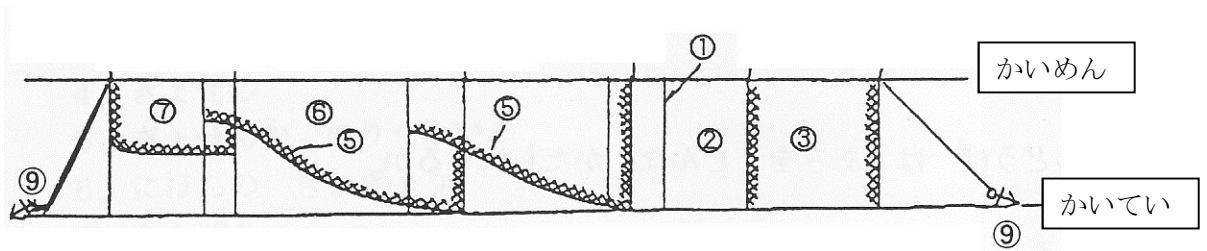
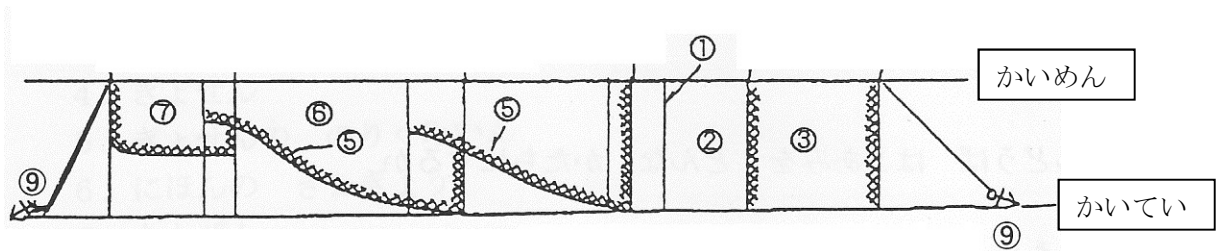


■ ていちあみぎよぎょう せんもんきゅう がつか しけんもんだい こうひょうよう

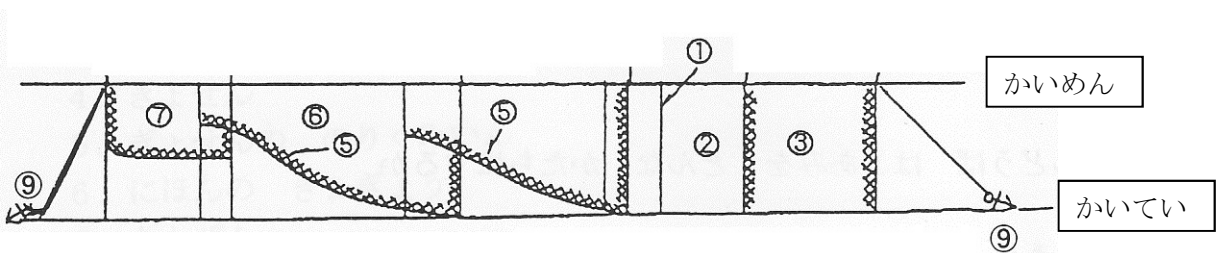
1. () したの ずは、 ていちあみを まよこから みた ずで、①は のぼりあみ である。



2. () したの ずは、 ていちあみを まよこから みた ずで、⑦は はこあみ である。



3. () したの ずは、 ていちあみを まよこから みた ずで、⑨は いかり (どひょう) である。



4. () ていちあみぎよぎょうでは さかなが よく とおる ところを みつけて あみを 入れる。
5. () かきあみの ながさを きめることは かんたん である。
6. () ていちあみで とれる さかなは すぐに いちばに もっていけ

ないため しんせん ではない。

7. () かきあみは ふとい いとで ちいさい めあいに あんだ あみで つくる。
8. () ていちあみを かわや みずうみに いれる ことはない。
9. () 「かんぱち」は ぜんこくの ていちあみで ぎょかく される。
10. () 「あかえい」 や 「おにおこぜ」は どくばりを もつ きけんな さかな である。
11. () あみおこしの じかんは ちいきに よって ちがう。
12. () あみおこしに つかう ふねには あみを あげるために つかう きゃっちほーらーが ついている。
13. () あみおこしのとき、 たてろーらーは さいだいの はやさで かいてん させる。
14. () あみを せばめて あつめられた さかなは たもで すくいあげて ぎょそうに いれる。
15. () ていちあみには どくを もつ さかなが はいることが あるため、 せんべつの ときは きをつける。
16. () ていちあみで とれた さかなの なかには、 いきたまま いちばに みずあげする ものもある。
17. () ていちあみを かんり するため、 うみに もぐって あみの じょうたいを たしかめる ことがある。
18. () いかり(どひょう)を うみに いれる ときは、 ろーぷに まきこまれない ように ちゅうい する。